



応募者 ID : 967C5350E7

課題は、朝日新聞を親子で読んでもらうこと。

私たちは、この課題に取り組むに当たって、
「忙しく働く親とその子供」をメインターゲットとしました。

是非、働く親の気持ちになって、この企画書をご覧ください。

家に着く頃、子供は既に眠っていることが多い。

平日、子供とコミュニケーションをとる機会が少ない親と、
その状況に、少なからず寂しい気持ちを抱いている子供。

そんな親子に向けて、新聞を介したひとつの
コミュニケーションのカタチをつくりたいと考えました。

それを実現するプロモーション企画を提案します。



つくったのは、ブランクスペース。



あなたのこどもが、記者になる。

こども記者欄

新聞に毎日 1ヶ所 ブランクスペースをつくる。

子供は記者になりきって、学校や家での出来事や、
あなたへのメッセージなど、毎日、何かしらの記事を書く。

夜、帰宅して新聞を読むと、子供の近況や関心事がわかる。
時々書かれる優しいメッセージに、心がジンとなることもある。

朝ごはんを食べながら、前の日の新聞に書かれていた話をする。
そんな新聞を介した親子のコミュニケーションを考えました。



日替わりで掲載場所が変わるブランクスペース。

[政治面]

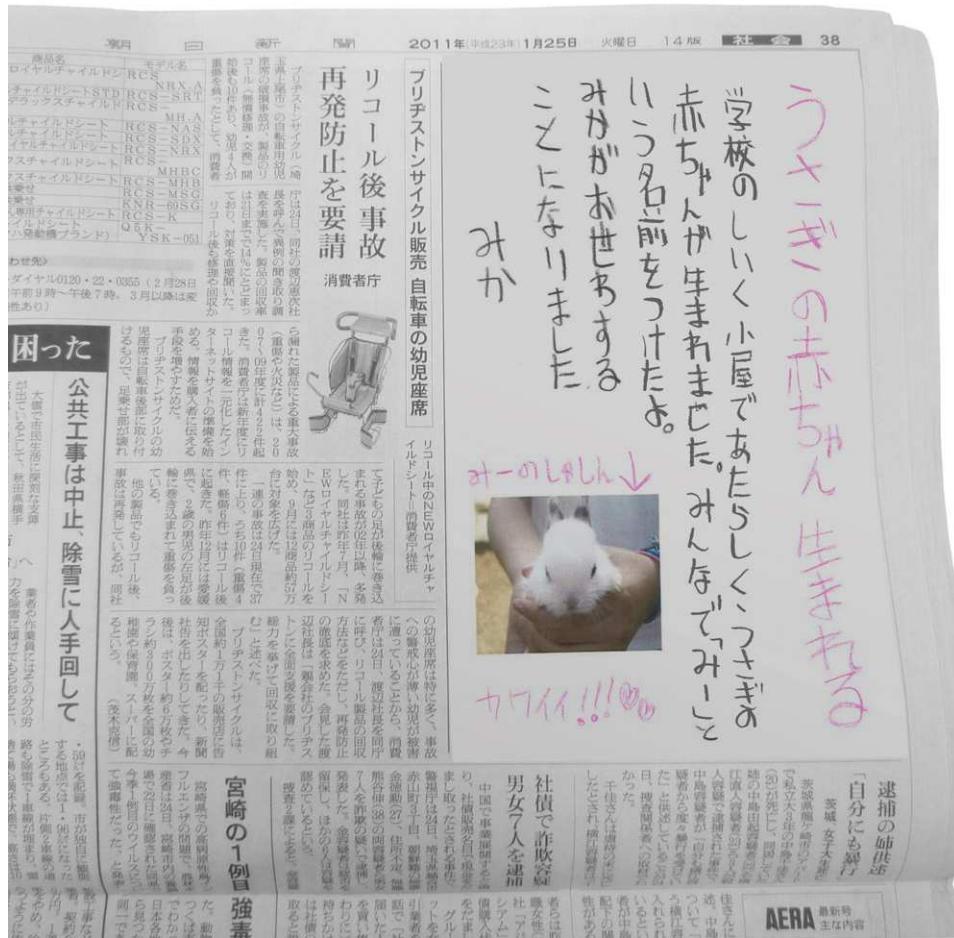


[経済面]



親は、仕事から帰った後それを読むのが楽しみになる。

[社会面]



[スポーツ面]



子ども記者欄をコアにした展開

WEB スクラップ

子ども記者欄をWEBスクラップ化し、
毎日、あつまつてくる記事を共有。

子ども記者コンテスト

子ども記者欄の記事を投稿してもらい、
日本一の子ども記者を選ぶコンテストを開催。

ワイドショーPR

ワイドショーの新聞記事チェックコーナーで、
子ども記者欄を紹介してもらう。

今日、あなたの子供は、どんな記事を書きましたか？

